

# 尿酸値の目安は

**6**  
mg/dL

**7**  
mg/dL

**8**  
mg/dL

尿酸値が高いと痛風関節炎の  
発症リスクが高まります

監修：住友病院 院長  
松澤 佑次 先生

## 痛風発作が起こるまで

### ■ 尿酸の飽和溶解度\*

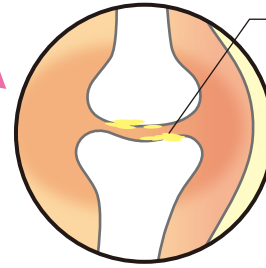
温度(°C)	30	35	37
飽和濃度(mg/dL)	4.5	6.0	6.8

\*Loeb JN: Arthritis and Rheumatism 15: 189-192, 1972

健康な状態

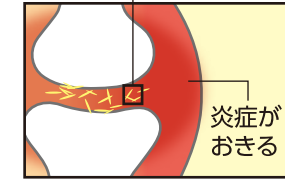


尿酸が過剰になると血液中に溶けきれなくなり、関節に析出・沈着してきます



尿酸塩が  
関節に沈着

尿酸値の急激な変動や物理的的刺激で  
関節に沈着していた尿酸塩結晶が剥がれ  
落ちる

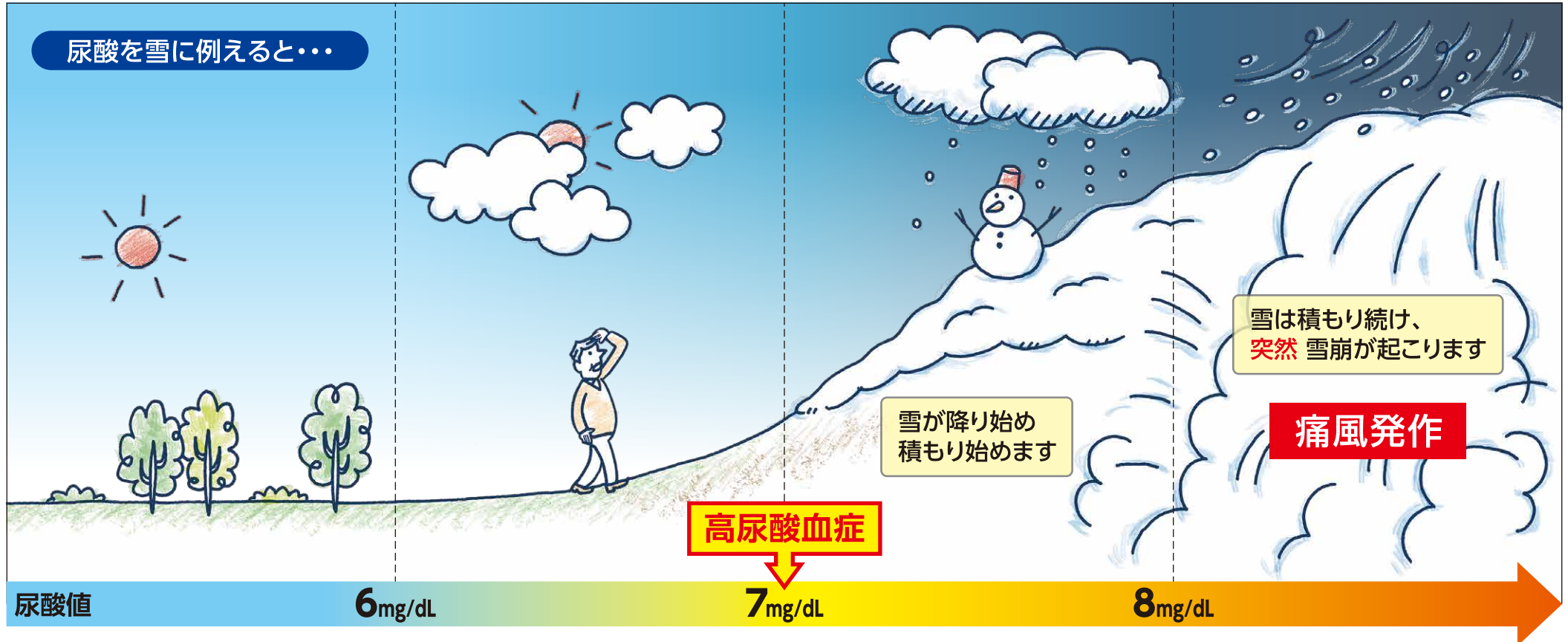


炎症が  
おきる



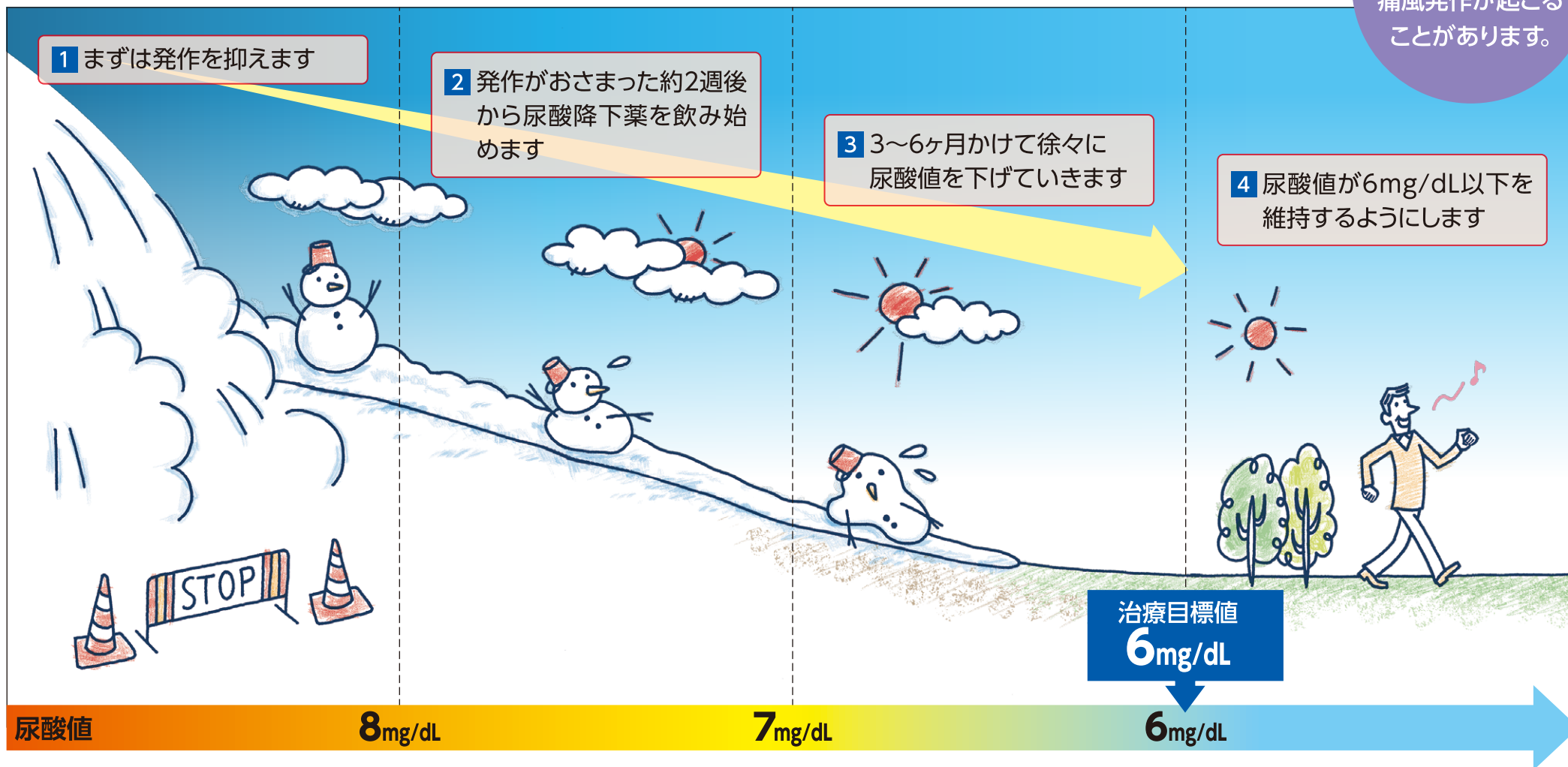
剥がれ落ちた  
尿酸塩結晶

## 尿酸を雪に例えると...



# 尿酸値は徐々になめらかに下げていくことが大切です

尿酸値が急激に下がると、痛風発作が起こることがあります。



- 1 未治療例の痛風関節炎時には尿酸降下薬を投与せず、非ステロイド抗炎症薬(NSAID)パルス療法で発作を寛解させる。
- 2 尿酸降下薬は痛風関節炎の寛解約2週後から少量で開始する
- 3 4 高尿酸血症の薬物療法は血清尿酸値を3~6ヵ月かけて徐々に低下させ、6.0mg/dL以下にし、その後は6.0mg/dL以下に安定する用量を続ける。

日本痛風・核酸代謝学会 ガイドライン改訂委員会 編集 高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第2版 メディカルレビュー社 2010 p89